

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1050	(H.24)No.	1050
-----------	------	-----------	------

事務事業名	コミュニケーション支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	172002
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	民生費	地域生活支援事業
項	社会福祉費	(小事業名)
目	障害者自立支援費	コミュニケーション支援事業

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	1	社会参加と交流・啓発の促進
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	聴覚障害者の日常生活の便宜と社会参加促進が図れる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳者の市役所窓口への配置並びに派遣</li> <li>手話通訳・要約筆記の研修、養成講座の開催</li> </ul>

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	手話通訳者派遣:20回 要約筆記者派遣:1回	手話通訳者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回 要約筆記体験講座:5回	手話通訳者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回 要約筆記体験講座:5回	手話通訳者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回 要約筆記体験講座:5回	手話通訳者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回 要約筆記体験講座:5回

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
<b>直接事業費</b>	<b>229千円</b>	<b>465千円</b>	<b>465千円</b>	<b>465千円</b>	<b>465千円</b>
内訳(千円)					
国・県支出金	36	198	198	198	198
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 193	267	267	267	267
人工数					
職員	0.14人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
臨時職員等	0.05人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 1,163千円</b>	<b>1,142千円</b>	<b>1,142千円</b>	<b>1,142千円</b>	<b>1,142千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 1,392千円</b>	<b>1,607千円</b>	<b>1,607千円</b>	<b>1,607千円</b>	<b>1,607千円</b>

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
障害者に対する住民の理解については、順調に伸びている。	引き続き、事業を推進し、一人でも多くの市民の理解が得られるよう努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	手話通訳奉仕員養成講座の開催。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある( 検討内容を記載 )	すずらん台、箕曲、青蓮寺・百合が丘、桔梗が丘、つつじが丘の地域づくりとの連携・協働を検討。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	<b>継続(現行)</b>
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
聴覚障害者のコミュニケーションの手段が確保できなくなり、自立及び社会参加への障害要因となる。	名張市障害者福祉計画、名張市障害福祉計画